

受 理	令和2年9月17日	請 願 第 3 号
件 名	新型コロナウイルス感染症の拡大とその長期化のため収入が大きく減ったにもかかわらず、吹田市小規模事業者応援金の対象にならなかったフリーランス及び小規模事業者の救済を求める請願	
請 願 者	吹田市春日4丁目2番1-219号 澁谷 文孝	
請 願 の 要 旨	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大によって、多くの職種に影響が出ました。飲食業や旅行業と共にイベント関連では業績の悪化が顕著です。その業務に従事する者が収入減で生活困窮しています。特に私の従事しているイベント関連は2月末からの大規模イベントの自粛要請、その後の劇場・文化ホール等の使用制限の要請により、イベント・舞台公演の多くが中止ないしは延期され、それに従事していた者が仕事を失いました。</p> <p>それに対し政府や多くの自治体が援助の手を差し伸べています。また9月19日の連休以降イベント会場・劇場・文化ホールなどの使用制限が緩和されると言われています。しかし、すぐに仕事が復活するわけではなく今年一杯、いや1年先まで不正常的な状況は続くと考えています。6月の持続化給付金支給から3か月が過ぎ、先を見通せない状況での離職が少なからず存在し、イベント遂行に必要な従事者の確保が難しい状況も生まれています。</p> <p>イベント関連は職種が多様で、働き方も個人事業主やフリーランスなど様々です。その中には吹田市小規模事業者応援金の対象職種の表に掲載されていない職種も多く存在します。</p> <p>職種による選別ではなく、このコロナウイルス感染症の拡大により実際に収入減で生活困窮している、ないしは休業要請等の副次的要因で仕事が大幅に減少した事業者へ吹田市小規模事業者応援金と同様の施策をお願いし、下記の事項を請願します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大とその長期化のため収入が大きく減ったにもかかわらず、吹田市小規模事業者応援金の対象にならなかったフリーランス及び小規模事業者への救済を求めます。</p>	
紹 介 議 員	馬場慶次郎 竹村 博之	

付
託

文教市民常任委員会